

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

中学校区におけるめざす子ども像
人とのつながりを大切にし、お互いを認め合える児童生徒の育成

堺市立平井中学校
校長 吉田純子

令和5年度 重点目標
【学校組織目標】あらゆる教育活動で「居場所づくり」と「絆づくり」に取り組む 【めざす子ども像】自分を信じ、夢に向かって挑戦し続ける生徒 自分と他人の良さや違いを認め合える生徒 平井中生であることに誇りを持ち、地域から愛される生徒 【学校教育目標】地域に根ざし、たくましく生きる力を備えた生徒の育成 【めざす学校像】ともに高めあう 居場所のある 信頼される学校

確かな学びの現状
学習に対する姿勢や、基本的な生活習慣の確立において課題があるが、週末プリントの定着を図るなど、家庭での学習習慣の改善への取組を行っている。昨年度まで、コロナ禍により、生徒の発表の場が少なかったが、今年度は、「平井中UDスタンダード」を定着させるとともに、グループ学習やアクティブラーニング等に力を入れ、生徒が主体的・対話的な深い学びに向かう授業を推進する。

豊かな心・健やかな体の現状
7割以上の生徒が、「自分には良いところがある」と答え、コロナの影響で、学校の教育活動にも制約がある中ではあったが、行事等に積極的に取り組んでいる。道徳の授業や人権教育などを通して、豊かな心を育むとともに、日々の授業や行事等において、すべての生徒が活躍し、互いが認め合える場面を実現する。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	達成状況(年度末)			
							達成状況(～12月) A:基準を上回っている B:概ね基準に達している C:基準を下回っている D:基準を著しく下回っている			
							自己評価	学校関係者評価		
確かな学び	総合的な学力の育成	・自分の考えを伝えたり、周りの意見を聞くなど、互いに高めあうことができる。	●授業中の学びの雰囲気が出てきているか ★主体的に学習に取り組んでいるか	・「授業は、学ぶ雰囲気ができている」75%以上	学校教育アンケート	3学期	B	・アンケートの回答の肯定率が74.2%であり、昨年度(66.9%)より上昇した。	A・B・C・D	A・B・C・D
			・普段の授業では、自分の考えを発表する機会が与えられているか	・「先生の説明を聞くだけでなく自分の考えを発表したり書いたりすることが多い」70%以上	学校教育アンケート	3学期	C	・アンケートの回答の肯定率が66.6%であった。	A・B・C・D	A・B・C・D
	授業改善	・主体的・対話的で深い学びを実現するための授業改善 ・平井中UDスタンダードの定着	・生徒の学びを深めることができるような授業改善のための研修(研究授業・スキルアップ研修)等を実施する。	・「学校の授業はわかりやすい」80%以上	学校教育アンケート	3学期	A	・アンケートの回答の肯定率が84.4%であった。	A・B・C・D	A・B・C・D
			・ICTを活用したわかりやすい授業がおこなわれている ・生徒用PCを授業で活用することができる	・「授業では、生徒用PC端末を活用する場面がある」 ・アンケートによる肯定率	学校教育アンケート CBT	3学期	C	・学校教育アンケートの結果では、89.5%であったが、CBT調査でのアンケートの結果は55.8%であった。アンケートを行う時期により、肯定率に差が出ると思われる。	A・B・C・D	A・B・C・D
豊かな心・健やかな体	仲間づくり	・授業・行事・部活動などあらゆる場面で、生徒の自尊感情・自己肯定感を高められるよう集団づくりをすすめる。 ・ルールを守り、互いに協力するなどの規範意識を向上させる。	●「自分によいところがある」と考える生徒の割合が増加したか	・「自分にはよいところ(長所)があると思う」75%以上	学校教育アンケート	3学期	A	・アンケートの回答の肯定率が82.3%であり、年々上昇している。	A・B・C・D	A・B・C・D
			・学級集団づくりを深め、自己肯定感を高める	・「学級に居場所がある」90%以上 ・「学級内での自分の役割など責任をもってやっている」90%以上	学校教育アンケート	3学期	B	・アンケートの回答の肯定率が96.4%と89.5%であり、「居場所づくり」「絆づくり」の取組を引き続き進めていく。	A・B・C・D	A・B・C・D
			・キャリア教育を充実させ、生徒が自らの将来について展望を持ち、進路選択ができるようにする。	・「将来の夢や希望を持っている」70%以上	学校教育アンケート	3学期	A	・アンケートの回答の肯定率が71.1%であった。	A・B・C・D	A・B・C・D
			★いじめの未然防止・早期発見・早期解決に向けて、教育相談の実施や職員研修を行う。	・「いじめはどんな理由があってもいけないと思う。」肯定率100	学校教育アンケート	3学期	C	・アンケートの回答の肯定率が96.4%であった。	A・B・C・D	A・B・C・D
			★あいさつを奨励し、社会性を身につけさせる	・「友達や先生にあいさつをする」90%以上	学校教育アンケート	3学期	A	・アンケートの回答の肯定率が92.4%であった。	A・B・C・D	A・B・C・D
地域協働	信頼される学校	・平井中学校区(平井中学校、久世小学校、深阪小学校)と泉ヶ丘学院による連携・協働を意識した活動を行う。	・校区巡回、相互参観の実施 ・夏季合同研修の実施	学校評価会議での評価 学校だよりの発行 「地域やPTA活動に積極的に参加している」50%以上 ・「小中連携が円滑に行われている」80%以上	学校教育アンケート	3学期	C	・アンケートの回答の肯定率が54.9%と74.8%であり、今後はコロナ禍前のように連携を深めていく。	A・B・C・D	A・B・C・D
			・こどもの広場の応援 ・学校ホームページでの情報公開	学校HPへのアクセス数 学校だよりの発行	実績回数	年度末	A	・学校だよりは毎月発行し、HPへのアクセス数は上昇している。	A・B・C・D	A・B・C・D

校長より(年度末)
今年度は、コロナも落ち着いてきたということで、めざす子ども像に向けて、「あらゆる教育活動で『居場所づくり』と『絆づくり』に取り組む」という学校組織目標を掲げて教育活動を進めてきた。重点項目とした「授業中の学びの雰囲気ができているか」については、目標値に達しなかったが、昨年度より肯定率は向上した。また、「自分によいところがある」と考える生徒の割合が増加したかの項目では、昨年度よりも肯定率が上回り、目標値に達することができた。しかし、生徒用PC端末を活用したり、自分の考えを発表することや、いじめに関する項目においては、目標値に達することができなかった。その課題に対して、授業改善や人権教育等の取組において、より一層充実させたものにしていく必要がある。

学校関係者評価者から(年度末)
・学力向上を図るために、授業で生徒用PC端末を効果的に活用してほしいです。
・1年生では、学習面や生活面での「中1ギャップ」を埋める手立てが必要だと思います。
・いじめ未然防止のためには、「いじめはどんな理由があっても決して許されない。」という認識を保護者、教職員が持つことが大切だと思います。
以上のようなご意見・ご助言をいただきました。